

魚津高校の取組み ～生徒一人一人のNEXTを実現する普通科～

理数的素養を備えた人材を輩出できるよう、理数系重視の入口から出口までの一体改革による質的転換で、理数系人材の裾野を広げ高みを旨す普通科高校のパイロットケースの創出・普及に取り組む

① 教育課程等の改革

- ・3年次からの文理分けを前提とし、1・2年次は共通履修を重視
- ・探究の学びを充実させるとともに、理数的素養の土台を定着させ、自分の興味の広がり合わせた進路選択
- ・年間総単位数30単位(各年次)による余白の創出

② 探究活動の充実

- ・「理数探究基礎」「サイエンス探究」「総合的な探究の時間」を連動
- ・「問い、迷い、仮説、根拠に基づく比較・検証、内省」を繰り返す思考力を全生徒の確かな資質・能力として育成

③ 興味・関心の向上

- ・理系分野に対する興味・関心が高い生徒に向け、高等教育機関等へのインターンシップや科学系部活動「サイエンス部」の新設で好奇心・探究心を刺激

④ 環境・施設の整備

- ・文理融合型の探究の学びを強力にバックアップし、創造的な学びを支える「探究棟」の整備や、実験・検証機能を高める理科室等の改修
- ・学校図書館機能の充実

⑤ 推進体制の構築

- ・「魚津高校理数系人材育成推進プロジェクト会議」を設置
- ・STEAMコーディネーターや探究アシスタントを外部から配置

⑥ 他校への普及展開

- ・協力校(魚津東部中、魚津西部中)との連携・協働を推進
- ・カリキュラム改革や探究の学びで得られた知見・最先端ノウハウを他校と共有・拡散

【魚津高校が目指すNEXT】

- ☆ 伝統と革新の融合
- ☆ 授業のリデザイン
- ☆ 「余白」の創出

※理数系科目重視型も選択可能な入学者選抜方法の検討

【校内推進体制】

- ◎ NEXT UOZU推進委員会
- ◎ ワーキンググループ(4グループでの具体的検討／全教員がいずれかに所属)